



# AREA4

ポータブル型 I/O 拡張ユニット

**A168 Stage**

取扱説明書

# 安全上のご注意

## ■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を、次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 <b>警告</b>	この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

 <b>警告</b>
<b>人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。</b>
● 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
● 必ず専用の電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり危険です。また、同梱された電源ケーブルは、他の機器に使用しないでください。
● 電源ケーブルの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。ケーブルが破損して火災や感電の原因となります。
● 確実にアース接続をしてください。また、アース線の脱着は電源を外してから行ってください。感電の原因となります。
● 濡れた手で、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
● 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
● 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常が起きたときは、ただちに電源を外し修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

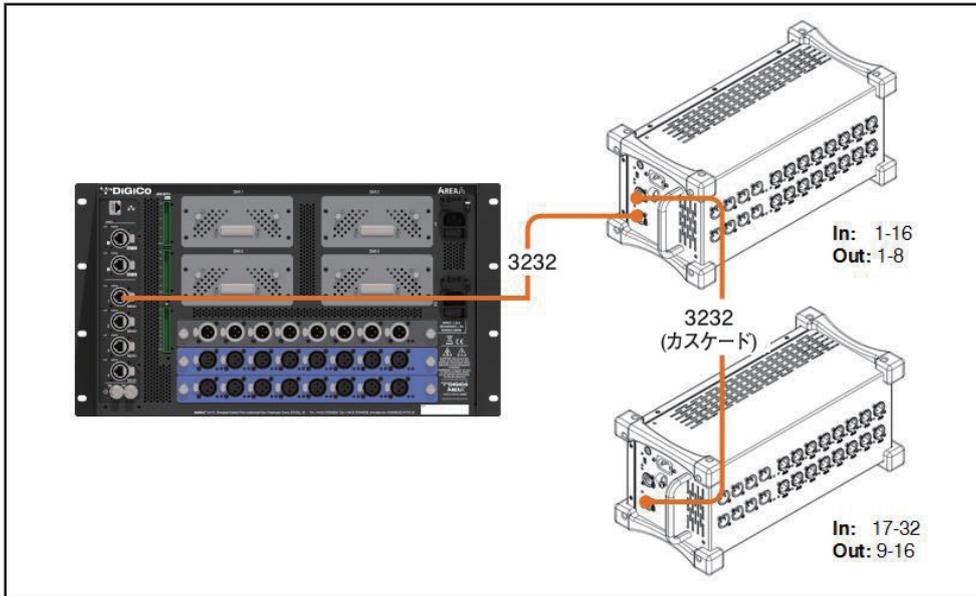
 <b>注意</b>
<b>人が傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容です。</b>
● 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
● 機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。また、ラックに設置する際は、前面パネルだけでなく背面パネルも固定してください。落下によるけがや故障の原因となります。
● 以下のような場所には、設置しないでください。火災や故障の原因となります。 <b>直射日光のあたる場所 / 極度の低温又は高温の場所 / 湿気が多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所</b>
● 通気性の良い場所に設置し、機器の吸気口や排気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
● 機器の移動は、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。けがやケーブルの破損の原因となります。
● 他の機器との接続は、機器の電源を全て切ってから行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。
● スピーカーの破損を防ぐため、電源を入れるときは最初にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切るときは一番最後に電源を切ってください。
● 出力の配線は、電源を切ってから 10 秒以上たつた後で行ってください。また、出力ケーブルがシャーシや他のケーブルとショートしないよう十分注意してください。感電や故障の原因となります。
● 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
● 落雷の恐れがあるときは、電源ケーブルを取り外してください。火災や感電、故障の原因となります。

# A168 STAGE

A168 は、DiGiCo デジタルミキシングシステム用のポータブルオーディオインターフェースボックスです。16 系統のリモートコントロールマイク/ラインプリアンプと 8 系統の XLR ライン出力を装備し、DiGiCo 3232 プロトコルを使用して 1 本の CAT5e ケーブルでミキサーに接続できます。カスケードモードでは 2 台の A168 を接続してシステム入出力数の拡張が可能で、リダントモードでは互換ハードウェアへのリダント接続が可能です。

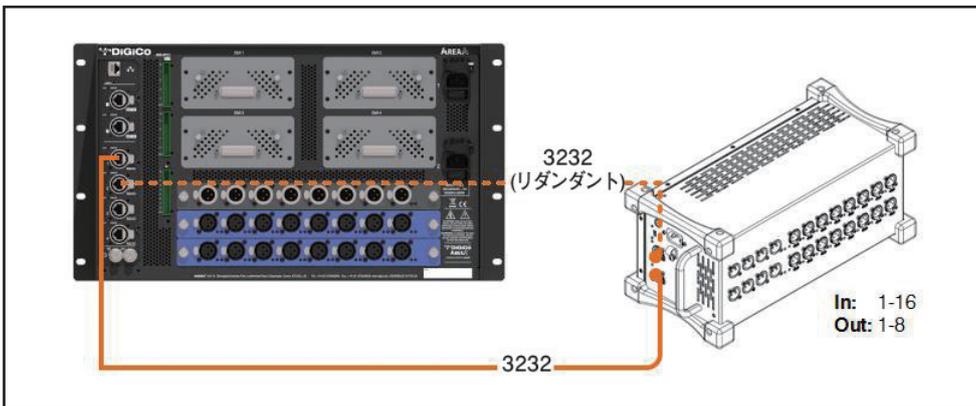
A168 は、コネクタを上または横に向けて横置きで運用できるほか、縦置きにすればステージ上のスペースを節約できます。オプションの X-A-168-19RK キットを使用すれば、19 インチラックまたはケースにマウントすることもできます。また、耐摩耗パッド付きポリエステルキャリーケースも用意されています。

下の図に 2 つのアプリケーション例を示します。



## A168 + A168 カスケードモード

32 in/16 out (ステージまたはラック)



## A168 リダントモード

16 in/8 out (ステージまたはラック)

オプションのリダントケーブルで互換ハードウェア (DiGiCo 4REA4 など) と接続可能

A168 用推奨ケーブルを DiGiCo から供給することもできます。詳細はヒビノインターサウンド株式会社にお問い合わせください。

## A168 のパネルレイアウト



- ① **入力端子**：16 系統のバランス XLR マイク/ライン入力です。+48 V ファンタム電源インジケータを備えています。プリアンプ内蔵で、ゲイン、パッド、+48 V ファンタム電源を 4REA4 から 3232 リンク経由で操作できます。アナログプリアンプの出力はデジタル変換され、プロセッシングやミックスのために 3232 経由で 4REA4 システムに伝送されます。端子には 1 ~ 16 の番号が付いています。4REA4 システムでは、オーディオエンジンで任意の入力を任意のチャンネルにパッチできます。
- ファンタム電源 (PP) インジケータ LED は、A168 または外部電源から端子に供給されている電圧を検出します。

- ② **出力端子**：8 系統のバランス XLR 出力です (公称レベル : +4 dBu)。4REA4 の [Routing] 画面で任意の信号を任意の端子にパッチできます。



- ③ **3232 ポート 1**：4REA4 に接続するための CAT5e ケーブルリンクです。A168 の入出力に加え、プリアンプコントロールおよびシステムステータスも伝送します。

・ ケーブルまたはポートの破損を防止するためにロック機構付き EtherCon コネクタの使用をお勧めします。

- ④ **3232 ポート 2**：CAT5e ケーブルリンクです。スイッチにより次の 2 つのモードを選択できます。

- ・ リダンダント：2 本のケーブルを使用して互換ハードウェア (4REA4 など) にリダンダント接続します。
- ・ カスケード：2 台の A168 を接続してシステムのマイク/ライン入力および XLR ライン出力を拡張します。

- ⑤ **電源端子**：内蔵ユニバーサル電源の IEC コネクタとヒューズです。AC100V、50/60 Hz に対応しています。同梱されている電源ケーブルを必ずご使用ください。

電源ケーブルはプラスチッククリップで固定してください。ねじの締め込みにはトルクスドライバー T20 が必要です。

- ⑥ **通気口**：ラックの側面および背面には十分な通気性を確保する必要があります。使用時に通気口を塞いではなりません。また、通気口にほこりや液体が入らないようにしてください。